

自然の中で暮らすNZの住人たち

一軒は丘の下からでもよく見えるがもう一軒は右手に隠れるようにある。



丘の上にそびえる2つの対照的なイタリア人の家

コロマンデルにはアコモデーション(ホテル)だけでなく、このロケーションを活かした独創的な家が数多くある。この土地と人を受けて個性的な家を作り続ける建築家デビット・プライアントさんが手掛けた2つの物件もその一例だ。

イタリアからの移住である両者の家は、共に丘の上に建ち並んでいるが、一軒は、施主の要望で丘の下からでも一目でわかるような壮大な外観を誇る。外壁はトスカナカラーである黄色。広いリビングや大きなバルコニーはお城のような造りで、まるでここがイタリアの郊外であるような錯覚を起こしてしまう。

もう一軒は、逆に下から建物が見えないようにして欲しいという施主の要望に合わせ、大きくとった庭のスペースによって丘の下からその姿はまったく見えない。建物自体は木のイメージや光の取り入れ方にも工夫がほどこされている。

それぞれ対照的で、独創的な家を作るデビットさんは3度の来日経験がある親日家。「ここに住んでいる人が好きで、彼らが喜ぶことをやりたい」と語るデビットさんは「ドリームカムトゥルー」を信条とし、今日もコロマンデルで家を作り続けている。

NZ版こだわりの家造り名人デビット・プライアントさん



イギリス出身のデビットさんは8歳の時にニュージーランドへ。フィティアンガに住むようになり20年がたつ。「自分が幸せになるのは他人を幸せにすること」。ドリームカムトゥルーの信条はここから来ている。



デビットさんの自邸。階段に座るのがこの家の中で夕日眺められる一番いいポジションだという。



親日家のジョージさんのご家族。自宅地下には宿泊設備があるので、ぜひ泊まりに来て欲しいとのこと。
※詳しくは下記に問い合わせを
Address: Ohuka Park, Whitianga
Phone: +64-7-866-2293
E-mail: giorgio@villatoscana.co.nz
http://www.villatoscana.co.nz

すべての家具をイタリアから運んできた。



黄色い外壁が一際目立つ。



丘下からは見えないパウロさんの家。屋根の色を緑にして森と同化させたり、広い庭のスペースをとることで下から家を見えなくするという希望を実現している。



部屋の内観には金の色など使わず自然な色、形で雰囲気作りをしている。



Coromandel Peninsula
Pauanui NEW ZEALAND HOLIDAY IN FOREST

コロマンデル半島には森が多く、ここにはニュージーランドの古き良き原風景がそのまま残っている。そんなコロマンデルの町のひとつ、パウアヌイの森の中に、この森の地形と自然を生かしたプカパークロッジがある。森の中に点在する50ものシャーレー(コテージ)は、それぞれ独立した山小屋風の「家」になっており、周りの木々が家自体を隠し、森の外からはまったく見えない。まるで森がすべてを包み込み、自然と調和するかのようになり、シャーレーが建ち並んでいる。この空間デザインはホテルのコンセプトに基づいている。



■PUKA PARK LODGE
Address: Private Bag, Pauanui Beach 2850
Phone: +64-7-864-8088
Fax: +64-7-864-8112
E-mail: pukapark@pukapark.co.nz
http://www.pukapark.co.nz
Data: 宿泊料金・1シャーレード 300NZドル(朝食込み・税別) ~ 1400NZドル/部屋数48

多いところで仕事をしたいと思ってました。また、できるだけこの自然をキープし、デザインも自然に合わせて作りました。「離れ」の作りは、自分の家をそのまま持つてきたようなプライベートな空間を大切にしたいからなんです」
87年にこのホテルを立ち上げたゼネラルマネージャーのアンジー・テイラーさんはこう語る。
ここに来たら自分の気持ちをリラックスし、コロマンデルの大自然に自分自身を重ね合わせて心のハイモニーを奏できるように楽しむのがいいだろう。そう、コロマンデルにはニュージーランド的なもの、すべてが集約されているのだから。